

## ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2010年5月2日現在

**概況** ワシントン州東部の5月2日に終る1週間の気象は、強い低気圧が通過し強風・多雨の気象であった。気温は中央東部では平年を並み、SE地区では平年以下であった。1週間の降水量はEC地区では0.10~0.79インチ、SE地区では0.46~2.60インチを記録した。1週間の州平均農作業稼働日数は4.7日(前週:5.8日)であった。Topsoilの土壌水分は“Adequate”が増加し、土壌水分状況は略平年並みとなった。Subsoilの土壌水分も前週より改善し“Adequate”が増えた。Adams及びLincoln郡などの乾燥地帯に有った降雨は土壌水分を改善し、冬小麦の生育に有効であった。Spokane郡にても降雨は作物に有効であったが、朝方の低温は小麦の生育を遅らせる結果となった。Walla Walla郡では所により2.6インチの降水があり、傾斜地では表土の流失が起きた。Whitman郡のColfaxでは1日に2.4インチの雨量を記録した。強風と豪雨で農作業は中断させられた。降雨は歓迎されたが、低温であった為、小麦の生育は停滞気味となり、気温の上昇が期待された。春小麦は全州の92%の圃場にて完了し、72%が出芽した。播種、出芽ともに昨年及び5年平均より早い進展であった。冬小麦並びに春小麦の作柄は前週より評価が上がった。

### 土壌水分及び灌漑用状況(\*)

(%)		Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	1	9	78	12
	Last week	0	12	73	15
	5-Yr Ave.	1	12	75	12
Subsoil	This week	8	29	61	2
	Last week	7	37	54	2
	5-Yr Ave.	8	24	65	3
Irrigation	This week	0	6	92	2
	Last week	0	6	93	1
	5-Yr Ave.	3	3	90	4

### 冬小麦の作柄状況(\*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	1	4	17	63	15
Last week	4	6	23	54	13

### 春小麦の生育状況(\*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Planted	92	86	76	82
Emerged	72	60	42	50

### 春小麦の作柄状況(\*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	0	0	38	59	3
Last week	0	0	51	46	3

(\*) Source: National Agricultural Statistic Service, Washington-Field Office, USDA. 5-Yr Ave means average of past 5 years 2005,2006,2007,2008 and 2009 Crop year.

以上

ご質問又はご意見は、OMIC USA Inc.小川正晃 [ogawa.max@omicnet.com](mailto:ogawa.max@omicnet.com)までお願い致します。

© Copyright 2002-2009 OMIC USA Inc. All rights reserved.